

加藤新聞



歯科と

金属アレルギー

金属アレルギーの原因は？

歯科医師は口腔内に原因を求めがちです。しかし、金属アレルギーの原因は口腔外に潜んでいる可能性もあります。たとえば、ある皮膚科の先生は次のように述べています。

「実は、掌蹠膿疱症における金属アレルギーの合併率は5%程度と少なく、金属除去時に病巣治療も同時に行う場合が多いものです。※病巣治療と金属除去のどちらかが皮疹改善に寄与したかについて後ろ向きコホート研究を行ったところ、金属除去の関与は少ないと報告されました。注意しなければならぬのは、金属パッチテストで陽性の金属が口腔内に存在していても、それが掌蹠膿疱症の原因とは言えないということですね。統計学的な頻度から考えると、まず病巣の治療を優先すべきです。高額

な歯科材料を入れしめてからの再治療は経済的負担も大きいので、通常はまず、保険診療内の金属による補綴で構いません。」

また、美容師や銀行員など、金属と頻回に接触している職種はそれが原因である可能性もあります。さらに、食べ物のなかなどにも金属は含まれています。

※病巣感染症とは？

病巣感染症とは、「身体のどこかに限局した慢性炎症があり、それ自体はほとんど無症状か、時に軽微な症状を呈するにすぎないが、それが原因もしくは悪化因子となって原病巣から直接関連がないと思われる遠隔の諸臓器に反応性の器質的あるいは機能的障害を起こす病像のこと」をいいます。

たとえば、糖尿病と歯周病の関係に言い換えてみます。「歯周病によって、まったく関係ないと思われる糖尿病が悪化する。」まさにこの構図と

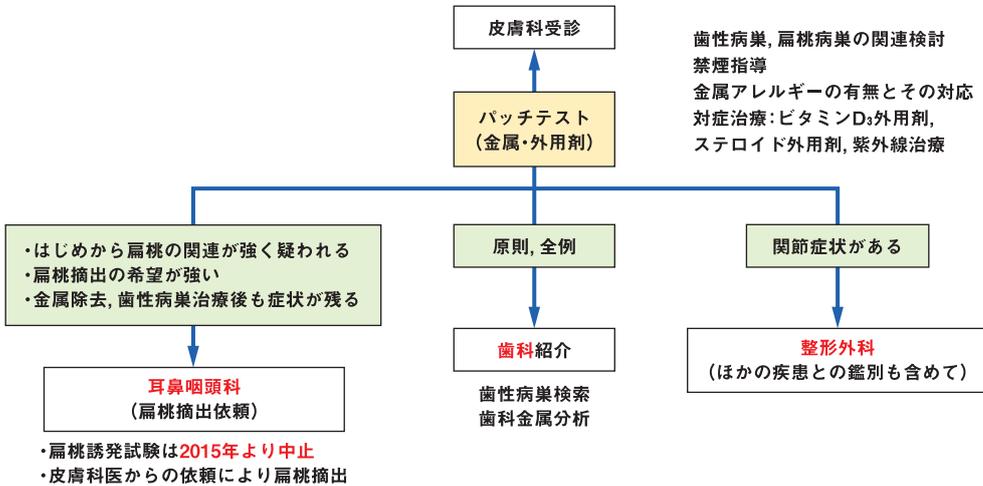
同じなのです。

実は、歯性病巣感染症（歯周病、根尖病変）が原因で二次的に皮膚疾患が起きている可能性もおおいに考えられるのです。

医科と歯科の連携

まずは皮膚科を受診しましょう。

歯性病巣、扁桃病巣の関連検討
禁煙指導
金属アレルギーの有無とその対応
対症治療：ビタミンD₃外用剤、ステロイド外用剤、紫外線治療



・はじめから扁桃の関連が強く疑われる
・扁桃摘出の希望が強い
・金属除去、歯性病巣治療後も症状が残る

耳鼻咽喉科
(扁桃摘出依頼)

・扁桃誘発試験は2015年より中止
・皮膚科医からの依頼により扁桃摘出

※参考書籍

「デンタルダイヤモンド2020年9月号」
株式会社デンタルダイヤモンド
「その皮膚疾患 歯科治療で治るかも」
クインテッセンス出版株式会社

2020年11月 加藤新聞 Q&A

Q 最近食べた(飲んだ)物で
みんなにおすすめしたいものは？

院長 すいか＋しようが＋ウオッカ
(カクテルです)

オリジナルホットサンド

河口 チューハイレモン

加藤 とり肉のさっぱり煮

倉岡 栗のケーキ(名前忘れました)

松岡 鹿児島
黒豚の串カツ

Q 小さいときのあだ名を教えてください

院長 小さいころからあだ名がない

河口 ひろちゃん

加藤 両津(こち亀の)

倉岡 くら、くらぴー

松岡 ゆみちゃん



今月のコラム

倉岡 朋子

加藤新聞をご覧いただきましてありがとうございます。助手の倉岡です。秋も深まり、来月は年の瀬、あっという間に一年が過ぎていきますね。さて、今回は年末の大イベント、クリスマスについて書きたいと思います。ご存知の方も多いとおもいますが、日本でクリスマスが祝われるようになったのは、実は山口県が発祥と言われています。1552年にイエズス会の宣教師が山口県において降誕祭を行ったのが始まりとされています。鎖国や戦時下では禁止や自粛になりましたが、今現在に至るまで受け継がれてきた日本でも大事な行事です。クリスマスと言えば子供にはうれしいクリスマスプレゼント☆皆さんは思い入れのあるプレゼントはありますか？私が覚えている一番古いプレゼントはリカちゃんのドールハウスと人形のセットです。幼心にサントさんは奮発したなあと思いました。ちなみに中学生の時には電動の鉛筆削りと、中学ではおおよそ使わないルート計算できる電卓をもらったことがあります。



そのおかげか分かりませんが、理系脳になりました。

もう一つクリスマスと言えばいつもとはちよつと違う料理☆日本ではフライドチキンが定番ですよ。世界でも定番料理が色々あるみたいですね。例えばイギリスのクリスマスプディング。プディングと言っても黄色いプルプルのプリンではなく、小麦粉にドライフルーツやナッツ、スパイスを混ぜて蒸し焼きにしたケーキみたいなデザートです。他にもアメリカの七面鳥やドイツのシュトレンは有名ですね。クリスマスのご馳走の後には年越し、年明けのご馳走…痩せる暇がありませんね(笑) ということで、美味しいものをたくさん食べるには歯の健康が大事☆治療の為だけでなく検診にもぜひお越しくださいね！(最後に少しだけ宣伝しちゃいました)



院長のオススメ図書

「体内に起こっている慢性炎症を抑えると病気になる。」

それって何？？と思った方も多くいらっしゃるでしょう。

まず炎症とは、発赤、発熱、腫脹、疼痛がみられることをいい、これが慢性的に起こると自覚症状もないのに重大な病気(がん、認知症、老化など)に発展してしまいます。

では慢性炎症のもとは何か？

この本を読めば、慢性疲労、メタボ、食べ物や食べ方、たばこ、便秘、歯周病など、生活習慣が大きく関わっているのがわかるでしょう。

私たちの医院が検診をすすめるのもこういう理由があるからなんです。どうぞ読んでみてください。

「体内の『炎症』を抑えると、病気になる！」



三笠書房

「慢性炎症を抑えなさい」



青春出版社

< 参考書籍 >

Q&A総数1,400件以上！
歯の悩みをすぐに解決！！
HPを是非ご覧下さい！

<https://www.kato.or.jp/question/>

加藤歯科医院 | 検索

医院紹介動画を作りました！

ホームページに掲載中です。
是非ご覧ください！

診療時間変更のお知らせ
2020年 11/7(土) 11:00までの診察

休診日のお知らせ
※日曜・祝日定休
2020年 12/24(木)

土曜日午後診療のお知らせ
～矯正治療～
2020年 11/14(土) 12/12(土)

年末年始のお知らせ
12/30(水)～1/3(日)まで休診
2020年最終診療日は12/29です。
2021年1/4から診療開始となります。

予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。
詳しくは院内掲示板、またはHPをご覧ください。